

壁の修理 をしてみましょう！

賃貸住宅は、帰国前にきれいに掃除をして返さなくてはなりません。家屋鑑定人立会いのもと物件の現状チェック (état des lieux / plaatsbeschrijving) を行って、賃貸住宅の汚れや傷みをチェックされ、新たな損害には修理代や弁償代として、多額の金額を請求されかねません。

そういうことにならないよう、日ごろから掃除を行き届かせ、帰国直前の忙しいときに慌てないようにしておくのが一番ですね。家の中を見回して、子どものいたずら書きや、傷のついた壁などが見つかったら、業者に頼む前に自分で手を加えてみましょう。

壁の汚れ

電気のスイッチの周りや気づかずに頻繁に手を付けている所は、なんとなく薄汚れていたり、手垢がついていませんか？ 壁にも埃がたまっています。以下の手順できれいにしましょう。

1. 乾拭きをして、埃などの汚れを取り除きましょう。
2. 壁専用の洗剤St Marc(写真右)などを使って、汚れを落としましょう。一般の掃除用洗剤でも汚れを落とせますが、水ぶきで洗剤分を十分に取り除きましょう。でないと、後日ペンキが剥れる可能性があります。掃除後は十分に換気をして、壁を乾かしてください。

St Marc : 松脂から作った研磨剤の入っていない自然派洗剤
例 : 1ℓの水に対し、50g~100g (50g=大さじ3) のSt Marcを溶かし、使用する。



壁の傷、穴など

物が当たって傷がついたり、子どもがおもちゃなどで穴を開けたりした壁があれば、きれいにふさいで元通りにしておきましょう。ホームセンターに行くと、チューブに入った壁修理溶剤 (reboucheur murs / muurvuller 写真右上) があります。

用意するもの

- *チューブ入り修理溶剤
- *スクレーパー (プラスチックの定規や下敷きでも代用できる)
- *サンドペーパー (papier abrasif / schuurpapier)
- *ペンキ (壁の面積を測って、必要量を購入)
- *刷毛



1. 壁の汚れをきれいに落とし、傷や穴に修理溶剤を入れて、くぼみを防ぎます。溶剤を壁より少し膨らむ程度に盛り、多すぎる分をスクレーパーなどでそいで表面をならします。
2. 十分に乾かしてから、サンドペーパーで磨き、壁をさらに平らにします。
3. くぼみがきれいにふさがっていなければ、上記工程を繰り返します。
4. ペンキを塗ります。ペンキは、最低2度塗りをして、くぼみが分からないように仕上げましょう。

ペンキは、元の壁と同じ色が分かればいいのですが、色が分からない場合は、壁全体の塗り替えとなります。この場合は、他の場所も乾拭きして埃を取り除き、汚れをきれいに落として、壁を十分乾かしてから、ペンキを塗りましょう。

ペンキを塗り出す前には、くれぐれも周りの家具や床にペンキがつかないように、古くなったタオル、ぼろ布や新聞紙で保護してからペンキ塗りを始めてください。

退去時にトラブルとならないよう、大家に相談してから壁の色を変えた方がいいかもしれません。

さあ、出来上がりはいかがですか？ 壁の色を塗り替えたなら、部屋が明るくなったり、気分転換になりますね。これで春を迎えたら、太陽も一段と輝いて部屋に光をさしてくれるでしょう。新しい部屋で、友だちと修理の様子を語りながら、美味しいケーキとお茶をしてください。子ども部屋は、子どもと一緒に作業すると楽しさも一段と増すかもしれません。きっと新しい部屋を大切にしてくれるでしょう。ベルギー人を見習って、壁の修理をやってみましょう。

引越しセミナー

参加無料 (要予約) ・参加特典付

日時 **2.18 (木) 10時~12時 (昼食付)**

会場 **弊社事務所** ※日程・場所は変更になる場合がございます
Avenue Louise 248, 1000 Bruxelles

ご都合がつかない場合は、ご自宅へお下見にお伺いいたします！



日本トランスユーロ
SAKAI EUROPE

☎ **02-733-2101**
<http://transeuro.jp>

RESTAURANT INADA

フランス料理レストラン



ランチ €29
ディナーコース €54

Tel : 02 538 01 13

定休日 : 土曜昼/日曜/月曜/祭日

Rue de la Source 73

1060 Bruxelles